

1 基本情報

施設名称	大阪市立住吉区民センター
施設所管課・担当	住吉区役所総務課（担当：向井、岡藤）
条例上の設置目的	コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与することを目的とする。
業務の概要	1.貸館運営業務 2.徴収事務委託契約に基づく収納事務 3.施設総合管理業務
成果指標	施設利用率 利用者満足度
数値目標	70%以上 / 85%以上
指定管理者名	大阪市コミュニティ協会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	施設利用率	利用者満足度
数値目標	72.53%	85.50%
年度実績	55.91%	98.00%
達成率	77.1%	114.6%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	275,494	177,648	97,846
稼働率	55.9%	44.6%	11.3%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	36,853,336	36,433,795	5,272,336	光熱費の高騰に対し、協定書に基づき費用補填をおこなったため。
	計画	31,581,000	37,004,000		
利用料金収入	実績	19,104,857	16,295,770	-357,143	指定管理者の営業活動やコロナウイルス感染症の影響が少なくなったことにより、施設利用率が大幅に改善したため。
	計画	19,462,000	14,705,500		
その他収入 （自主事業収入）	実績	4,854,490	357,000	-933,010	コロナウイルス感染症の影響が少なくなり、自主事業を実施できるようになったことや指定管理者が積極的に自主事業に取り組んだことで収支が大幅に改善された。
	計画	5,787,500	6,157,500		
合計	実績	41,707,826	36,790,795	4,339,326	大幅に収入が増加している要因は、光熱費の高騰に対し費用補填を行ったため。
	計画	37,368,500	43,161,500		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	24,632,086	25,013,865	667,732	最低賃金が上昇したことや利用者数が増加し、スタッフを増員する必要があったため。
	計画	23,964,354	23,006,081		
物件費	実績	31,155,503	27,946,550	5,293,808	光熱費の高騰が主な要因 指定管理者は、節電等、コスト削減のための努力を適切におこなっていたが、光熱費の高騰、設備の故障などの要因が重なり大幅な支出増となった。
	計画	25,861,695	28,743,919		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	2,592,017	198,756	-672,883	当初計画のうち実施を見送ったものや事業内容を見直した事業があり、支出が減少したため。
	計画	3,264,900	3,132,900		
合計	実績	58,379,606	53,159,171	5,288,657	光熱費の高騰が主な要因 館の規模が大きいこともあり、前年度比で月に数十万円単位で光熱費が増加したため。
	計画	53,090,949	54,882,900		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
施設利用率	77.1%	C	数値目標を達成することはできなかったが、新規自主事業の立ち上げや周辺地域への情報誌ポスティングなど新規顧客獲得に向けた施策を適切に実施したことは評価できる。
利用者満足度	114.6%	A	空調設備が経年劣化により故障するなど、施設老朽化の影響が各所にみられる中、利用者への影響を最小限に抑え、高い利用者満足度を果たしたことは評価できる。

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
昨年度に引き続き、間引き照明や空調、照明不使用時の電源オフなど適切に経費縮減にかかる取り組みを実施していた。	B	収支計画は光熱費が大幅に計画を超過しているが、施設利用率の改善や電気・ガスの使用量が前年を下回る月があったことを考慮すると適切に市費縮減に取り組んでいたと考えられる。

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	法令・規則にのっとり適切に管理運営が行われた。
事業計画の実施状況	A	事業計画書及び協定書等に基づき適切に実施されていた。更に附設会館周辺地域への施設情報誌のポスティングや新規自主事業の立ち上げなど積極的に目標達成に向けた利用率向上対策が講じられていた。
施設の有効利用	A	市民楽団とコンサートを共催、映像専門学校と協同し、卒業制作の撮影・上映会を実施するなど積極的に施設の有効利用に取り組んでいた。またボランティアセンターと共同で交流スペースを運営し、区内の市民活動、ボランティア活動のハブとして機能した。
社会的責任・市の施策との整合性	B	法令等に基づき、標準通り事務が進められていた。また区役所とも密に連携を取り、市施策を適宜実施できていた。

5 利用者ニーズ・満足度等

利用者に対して年2回のアンケート調査を実施（総回答者数 212名） 「施設設備」「スタッフの対応」「清掃状況」「総合満足度」等の項目で調査を行い、98%の利用者から満足との回答が得られた。 また利用者から設備にかかる意見を頂くことが多かったが、「フリーWiFiを設置してほしい」という要望に対し「貸出備品としてポケットWiFiを新設する」など、適切に対応していた。
--

6 外部専門家意見

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍からの経営状態回復に向けた努力が認められた。 ・今後はさらに利用者が増加すると見込まれるのでより適正なスタッフの確保、運営が必要。 ・満足度は高いが施設利用率が計画の6割を下回っている点について分析が必要。 ・ポスティング等の実施は評価できる。WEBやSNS対応などコロナ過後の新たな展開に注力が必要。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	施設利用率については、成果指標を達成することはできなかったが、設備の故障・老朽化やコロナウイルス感染症への対応など特異な状況の中、達成に向けた施策を実施したことや高い利用者満足度を獲得したことは評価できる。
市費の縮減	B	収支計画は光熱費が大幅に計画を超過しているが、施設利用率の改善や電気・ガスの使用量が前年を下回る月があったことを考慮すると適切に市費縮減に取り組んでいたと考えられる。
管理運営の履行状況	B+	法令・規則にのっとり適切に運営が行われた。また各評価項目において適切に管理運営されており、適宜改善策を講じていた。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	上記の内容から令和4年度の管理運営に関しては、おおむね事業計画又は本市の定める水準どおりの効果が得られたと考える。